

活動ノート



12月21日(土)
平成25年納会
13:00~15:00



◆参加者：林、篠原、榊、静間、川上、岩尾、山川、中嶋、吉田、新牛込家4人、富永、森計15名
◆内容：うんえー会の午後にキャンプ場で納会を行いました。これまでの活動で伐採し保存していた薪を運び、ぶた汁を大鍋2つで作りました。雪の降る中、バーベキューと暖かい豚汁をみんなでワイワイ言いながら食べて皆さん満足したようでした。今回は買い出しや準備を分担していただき大変助かりました。

【ふりかえりより】

・本年最後のうん・えー会も無事終了し、ホッとしました。納会も盛会で楽しかったです。(林)

1月11日(土)
カブ森除伐とクヌギの生長調査
9:30~15:30



◆参加者：鎌田、岩尾、榊、松雪、柴戸、川上、森、松尾、阪下、篠

原、静間、(九大)朝廣先生、山本、にしきべ、武谷、橋本、山崎、裴、中村、小川R 計20名

◆内容：今回の活動には九大芸工学部朝廣先生の授業の一環として2年生7名が参加されました。森会活動の紹介後、いつもの通り準備運動をしてカブ森へ。寒波が去って天気も好転、絶好の活動日よりとなりました。午前中は全員で除伐作業をすることにして、①大木伐採、②休憩小屋周辺での伐採、③川沿いのヤブツバキ伐採の3班に分れました。①班は大きなタブノキの伐採と、それに伴うリョウブなどの伐採をしましたが、伐採初体験の学生さんにはかなりのインパクトがあったようです。②班は直径20センチ前後のヤブツバキとシロダモを伐採、併せて休憩小屋からの入り口東側の低木数本も伐採しました。③班は川沿いに残っているヤブツバキを3本伐採しました。久々に大人数での作業となつて大いにはかどり、予定をはるかに超えた除伐ができ、休憩小屋からは川沿いの道を望めるようになりました。午後からは生長調査も並行して行い、休憩小屋前の調査地で計14本の幹周りや樹冠幅の計測をしましたが、これには九大の方にも参加して頂きました。初めての体験だったと思いますが、熱心に取り組んで頂き、スムーズに調査ができました。

【ふりかえりより】

・活動では樁の木を切るお仕事でした。木を切るのはちょっと胸が

痛みますが、カブトムシの森を育てるためなので、慣れていこうと思っています。(森)

1月25日(土)
救急・安全講習及び備品管理
10:00~15:00



◆参加者：鎌田、林、岩尾、静間、松雪、篠原、榊、小川計8名
◆内容：南消防署から桧原出張所の安武さんと市民サポーターの戸次さんに来てもらいました。DVD「あなたの勇気が命を救う」再生後、全員で救命方法、胸骨圧迫体験、AEDの使用法などの講習を受けました。午後は、備品管理です。倉庫より全ての備品類をセミナー室へ運び込み、備品リストに従って並べました。次にそれぞれの保守状態を確認しつつ数量点検を行い、その結果不要と思われるものや、破損していたものを廃棄しました。一方、新規に購入した掛け矢(1)、万能鋸(5)、剪定鋏(5)は備品リストに加えしました。点検後、全ての備品を倉庫に戻す際には、それぞれの使用頻度などを考慮した使いやすい配置としました。

【ふりかえりより】

・1年に1度、安全講習で、いろいろ思い出せて良かったです。道具も懐かしいものをたくさん発

見できました。(篠原)

2月9日(日)

森を育てる入門講座(カブ森除伐
とシイタケ駒打ち)

9:15~16:00



◆参加者: 鎌田、榎、岩尾、富永、松雪、田口、中嶋、菊池(潤、泰)、森、静間 計11名

◆内容: 10時からレクチャールームで参加者へのオリエンテーション。小川さん作成の森会活動風景ビデオを観て頂き、鎌田さんから補足説明をした後センター前で準備運動。楕木のシイタケ摘みを楽しんで貰ったあと東屋へ移動。東屋で5班体制になり、まず安全な伐倒方法の解説を松雪さんに行ってもらいました。参加者の方からは「倒れる時にこんなに風がくるのですね」との声がありました。その後、班に分れて主にヤブツバキの細いものを中心に伐倒体験をしてもらいました。伐倒後は剪定ばさみで材処理も体験してもらいました。12時20分に作業を終了し昼食会場のキャンプ場へ移動。昼食を楽しんだ後は、いよいよ駒打ちのはじまり。富永さんがパネルを使いながら要領を解説。大人がドリルで開けた穴に、子供たちが駒を打つという分業体制で行いました。雨が降っていて屋根の下の狭いところで作業することになり、かなり窮屈で十分に指導することが出来なかったのが心残りでしたが、怪我などもなく終わることが出

来ました。行事の最後に菊池さんから森会に入ることになったきっかけから現在に至るまでについてのスピーチしていただきました。その成果で入会の問合せが2件ありました。参加者はアンケートに記入後、現地解散、おみやげに小さな楕木を持って帰って頂きました。アンケートの結果は皆様から満足との回答を頂き、説明会としては大成功でした。

【ふりかえりより】

・小雨が降ったりやんだりの天気でしたが、沢山の参加者で活気のある一日となりました。(菊池)

2月16日(日)

カブ森B地区除伐

9:30~15:30



◆参加者: 鎌田、林、岩尾、榎、菊池、静間、中嶋 計7名

◆内容: 東屋へ到着し準備を整えたのち、道路側斜面の大物スタジイを伐る班とそれ以外の木を伐る班の2班に分かれて作業開始です。スタジイは重心が北側にやや偏っていたものの、クヌギを巻き込む恐れがあったので、重心とは反対の南側に倒すことにしました。楕円状の断面で長径が30数cmと大きかったため受け口作りにも一苦労。次にロープを引きながら追い口をかなり切り込んでいったのですが、くさびを打つための隙間を確保するのがなかなか難しく、やっとの思いで何とか打ち込んで、ロープの助けも借

りて無事予定の方向に倒すことが出来ました。もう1班は、まず飼育小屋へ向かうB地区遊歩道沿いにある直径17cmの落葉樹(樹種不明)を伐採。その後は東屋から階段を下ったところの川沿いのヤブツバキ2本(直径12cm、16cm)を伐採し、材と枝葉の処理を行いました。こまを午前の作業とし、道具の確認後、東屋前の日なたにブルーシートを広げて昼休憩としました。午後は午前中に伐ったスタジイの材の処理、遊歩道の清掃、及び川沿いのヤブニッケイ(直径16cm)とヤブツバキ(直径17cm)の伐採を行いました。ヤブニッケイの材から漂う独特のよい香りが印象的でした。その後、この2本の枝葉の処理も行ったところで作業終了となりました。少ない人数でしたが予定通りの作業をこなすことができました。今回の作業で川沿い、斜面ともかなり明るくなりB地区の印象がだいぶ変わってきたなあと感じました。

【ふりかえりより】

・気になっていたヤブツバキ、スタジイが伐れました。すっかりA地区並みになってきたB地区ですが、まだ大物が控えています。(静間)

<特別活動について>

「特別活動」は、今年度計8回、延べ38名の参加で作業を行いました。作業は、カブ森の中の残材や、定例活動で残った伐木の後片付けですが、チェーンソーを用いた結果、A・C地区の材処理はほぼ終わることができ、来年度はよりやっかいなB地区の片づけをする予定です。